



vol.1

新任医師のご紹介



臨床検査科 佐守友博 医師
(主任部長：臨床検査専門医)

本年より明和病院臨床検査科に勤務させていただくことになりました佐守と申します。臨床検査は大きく分けて生体検査（患者さんの身体を直接検査する心電図などの検査）と検体検査（患者さんから採取または排出されたものを検査する血液や尿の検査）の2つです。様々な専門分野があり、私はその中でも止血機能検査を専門としています。止血機能検査とは、出血の止まらない方や血栓のしやすい方の診断の助けとなる検査で、数十種類の検査があります。検査法や治療法が進歩している領域の1つで、月に一度ですが大阪市立大学病院の血液内科で止血機能検査相談外来も受け持っています。当院では二人目の臨床検査専門医（1人目は病理専門医でもある覚野先生）ですが、私たち二人は臨床検査を専門とするお医者さんとして当院の臨床検査科の井上技師長をはじめとする臨床検査技師の皆さんと協力して、患者さんの臨床検査データがより正確に病態を反映できるものである状態を維持していきますので、よろしくお願いいたします。

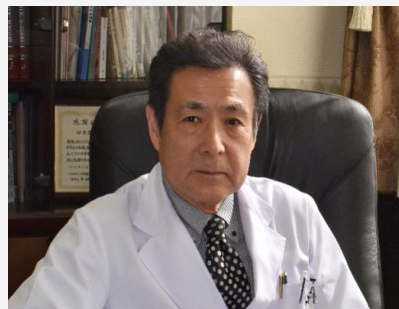
新年のご挨拶



～リンパ浮腫に新兵器～

新元号「令和」も明けて2年目です。令和元年は新天皇が即位をされたおめでたい年でした。しかし一方で台風19号による河川の氾濫で東日本に絶大な被害がもたらされました。復興作業は年を越して続いているようです。自然災害だけではなく、沖縄那覇の首里城が火災のため焼け落ちました。少し前にはフランスパリのノートルダム寺院も全焼しました。

形成外科主任部長 田原 真也



自然災害であれ、人災であれ起きてしまった災害被害はもとに戻りません。起こる前の日頃の心がけと、万一起こった時に被害を早期に最小限におさえることが何より大切と思い知らされたニュースでした。

病氣や怪我もひとつの災害でしょう。かからないよう日頃の管理はなにより大切です。それでも忘れた頃にやってくるのが疾病です。病院はその災いを少しでも早期に、少しでも小さな被害で食い止めることが使命です。明和病院は「親切で信頼される病院」をモットーに、近隣の方々に愛される地域密着型の診療を心がけて今年も日々努力を続けてまいります。

診療面でのトピックスをひとつお伝えします。昨年最新鋭の医療機器が導入されました。「スパイファイ」というこの器械は血管内やリンパ管内に微量注入されたICG（インドシアニングリーンという人体に無害の色素）を体外からの確にモニターできます。これによっていろんなことが可能になりました。例えば手術中に組織の一部に血行の悪い部位がないか、一目瞭然に判断できます。また組織移植では移植された組織に十分血液が供給されているか一瞬で判別可能です。外科手術が飛躍的に安全に行えるようになりました。またリンパ浮腫の治療にも大きな進化をもたらしました。リンパ浮腫は生まれつき原因のわからないものもありますが、多くは腋窩や鼠蹊部のリンパ節郭清が行われた後、リンパの流れが障害され、上肢や下肢に「むくみ」が生じる病氣です。この疾患の治療にはリンパ管静脈吻合という術式がもちいられますが、通常目には見えないリンパ管を体外からスパイファイで描出することができるので、手術の進行が非常にスムーズになりました。安価な器械ではありませんが、疾病を少しでも早期に治療して、被害を最小限に抑えて良い結果を患者さんに還元しようとする努力の一端です。

どうか今年一年が皆様にとりまして、災いのない、安全・安心な年になりますようにお祈りして新年のご挨拶といたします。

講演

医療講座（公民館主催）のお知らせ（1～3月）無料：参加自由：14：00～15：30

日時	演題	講師	場所
1月29日(水)	役に立つ薬の話	薬剤部部長 菊井 利伸	南甲子園公民館 (Tel：49-4741)
2月5日(水)	ウォーキングを効果的にする方法	リハビリテーション科 理学療法士 主任 中川 ふみよ	鳴尾公民館 (Tel：47-3838)
2月27日(木)	認知症の話	訪問看護センター明和 主任 中島 淳美	(社会福祉協議会) 夙川公民館 (tel：33-1928)
3月13日(木)	高齢者に発症しやすい眼の病氣 ～白内障～	眼科部長 田中 久子	学文公民館 (Tel：41-6050)

明和病院の最新ニュースもお届けします。



認定

✓ 病院機能評価認定されました。

明和病院は日本医療機能評価機構の定める「機能種別版評価項目 3rdG: Ver.2.0」に認定されました。
認定証は本館1階外来受付前に掲示しております。

表彰・受賞・入賞

✓ 第71回 兵庫県医師会医学会 最優秀演題賞・優秀演題表彰 第72回 兵庫県医師会医学会 優秀演題賞受賞決定

第72回兵庫県医師会医学会(令和1年10月20日(日)・兵庫県医師会館)において、以下の2名(3演題)が表彰されました。

第71回 兵庫県医師会医学会 最優秀演題賞

受賞者: 外科 中島 隆善 医長

演題名: 転移性肝腫瘍に対するラジオ波焼灼療法

第71回 兵庫県医師会医学会 優秀演題賞(2題)

受賞者: 外科 岡本 亮 医長

演題名: ①局所進行下部直腸癌に対する術前期化学放射線療法を用いた
当院の個別化治療戦略
②高齢便失禁患者に対する仙骨神経刺激療法(SNM)の適応

また、外科 岡本 亮 医長の演題

「排便機能外来での慢性便秘診療 特に排泄困難型便秘症への対応について」が

第72回 兵庫県医師会医学会 優秀演題賞受賞決定しました。

スポンサー契約

✓ 西宮ストークスと オフィシャルスポンサー契約を締結しました。

明和病院は西宮ストークスとオフィシャルスポンサー契約を1シーズン結ぶこととなりました。
西宮ストークスは西宮を本拠地とした B.LEAGUE に所属するプロバスケットボールチームです。明和病院がストークスの選手達をサポートすることで、ストークス、ひいては西宮の街活性化のお手伝いをしていきます。



リニューアル

令和2年1月号より「明和病院だより」をリニューアルいたしました。これに伴い、発行時期も1・4・7・10月に変更となります。発行時期・発行回数は、場合により変更となる場合がございますので、ご了承ください。

✓ 第32回 日本外科感染症学会総会学術集会 ポスター AWARD 受賞

第32回日本外科感染症学会総会学術集会において
外科 中島 隆善 医長がポスター AWARD [医師部門] を受賞しました。

演題名: 臍頭部領域癌手術症例における右肝動脈分岐異常が術後感染に及ぼす影響の検討

✓ 第81回 日本臨床外科学会総会にて研修医 AWARD 受賞

第81回日本臨床外科学会総会において
臨床研修医 福岡 有紗 医師が研修医 AWARD を受賞しました。

発表: 臨床研修医 福岡 有紗 医師

発表指導: 外科 浜野 郁美 医師

演題名: 研修医セッション 小腸4

単孔式腹腔鏡下手術を施行した腸石を伴う成人消化管重複症の1例

✓ 第17回 日本乳癌学会近畿地方会 デジタルマンモグラフィグランプリにて入賞

令和1年12月7日 第17回日本乳癌学会近畿地方会
デジタルマンモグラフィグランプリにおいて

当院から乳腺・内分泌外科 岸本昌浩部長・村澤千沙医師が入賞しました。

また、村澤医師は見事 **グランプリ1位** に選ばれました。



令和2年2月1日から、患者さん専用ナビダイヤルを開始します。0570-0-89470

ハヤクヨクナレ